北九州 市政だより

8/15
2016 平成28年 No.1272

©ていたん&ブラックていたん,北九州市
環境未来都市 北九州市

北九州市ホームページ http://www.city.kitakyushu.lg.jp/

主な内容

トピックス 「北九州～中津ウオーキング大会」など …… 2 3 4
「北九州 食の魅力まるごと発信」「がんばれ! ギラヴァンツ北九州」 …… 4
すこやかハート北九州「10月から『介護予防・生活支援サービス事業』が始まります」など… 5
※最終ページは若松区の情報

［人口］（平成28年7月1日現在）
95万7681人
世帯数 42万7633世帯
※この数値は、国勢調査の速報値に基づき人口・世帯数を推計したものです。

市政・生活情報や申請窓口の問い合わせ
北九州市コールセンター
☎671-8181 年中無休 8時～21時

夜間・休日の病気やけがについて
☎522-9999

24時間子ども相談ホットライン
☎881-4152

消費生活センター
☎861-0999

編集・発行 北九州市広報室広報課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1
☎582-2236

特集 北九州ゆめみらいワーク

わたしたちの「しごと」と「まなび」を考えよう

若い世代が早い段階から仕事や進学について考え、地元の魅力を知るためのイベント「北九州ゆめみらいワーク」が西日本総合展示場新館（小倉駅北側）で開催されます。地元企業や学校、本市の魅力を楽しみながら知ることで職業観を育み、仕事を意識した進路の選択や、地元での就職など、自分の将来を考える機会をつくります。今回は8月26日㈮・27日㈯に開催される本イベントの魅力について特集します。

「北九州ゆめみらいワーク」とは?

「まちづくり」や「エコ・エネルギー」等のキーワード（業種）ごとに、120以上の地元企業・大学・専門学校などがブースを設置しています。業種ごとに、知識や技術と仕事とのつながりが体感できる仕組みです。

新卒者向けの合同会社説明会とは異なり、地元企業の魅力や特長に加え、大学等での学びがどのように仕事につながっていくのかや、さまざまな業界で活躍する専門職の魅力、その職業に就くために必要な学びなどの話を、それぞれの先輩から直接聞くことができます。仕事を体験し、多くの社会人と交流することで自分も社会人になるという「少し先の未来」が、ぐっと身近に感じられることでしょう。

誰が参加でき、どんなことが体験できるの?

高校生や大学生、専門学校生の他、中学生や保護者、学校関係者など、どなたでも参加することができます。

地元の老舗企業やオンリーワンの技術を持つ企業等が多数出展しており、ものづくりや介護などの就業体験を通じて仕事への理解を深めることができます。その他、若手起業家の話を聞いて身近な問題点から独自のビジネスモデルを考えるワークショップなど参加型のイベントが開催されます。本市ではこのイベントを通じて、多くの人に地元の企業や大学などを身近に感じてもらうとともに、本市で生まれ育った若い世代の地元就職につながることを目指しています。

このように地元の魅力がたくさん詰まった北九州ゆめみらいワークに参加してみませんか。

会場内イベント・セミナー

8月26日㈮ 10:00～17:00

10:30~12:00	起業家ワークショップ「☆粘土でお花を作ろう!『DECOクレイクラフト』体験☆」
12:45~14:00	グループワーク「北九州で行う新ビジネスを考えよう!」

8月27日㈯ 10:00～16:00

10:30~11:00	講演会「若手起業家に聞く!『起業』の心得」
10:30~12:15	高校教員・保護者向け講演会「高校教育現場や行政機関の視点から地域貢献について考える」
11:15~12:30	グループワーク「北九州で行う新ビジネスを考えよう!」
13:00~15:00	こまバトル
13:00~15:00	大学生・保護者向け講演会「就職活動についてマイナビ編集長が徹底解説!」

北九州ゆめみらいワーク特設サイト
〈http://www.kitakyushu-yumemiraiwork2016.jp/〉
QRコード➡

地元の企業や学校がオリジナルの技術を注いだ「こま」で対戦!

直径20㎝、全長60㎝以内の小さな「こま」で、ものづくりのプロと学生がその技術と情熱を競う大会「こまバトル」が本会場で開催され、福岡県立八幡工業高等学校機械科より校内大会を勝ち進んだ生徒が参加する予定です。

参加者へのインタビュー

鳥越太河さん（写真上段左）
小さいものを作る技術が日本のものづくり産業につながっていると思うので、真剣に取り組んでいます。

上田祐太さん（写真上段右）
自分で作ったものが製品になることが一番の喜びです。将来、ものづくりに関わる仕事に就きたいので、企業が作ったこまを見て技術を学びたいです。

井上直弥さん（写真下段左）
相手がどのような技術を持っているか、対戦するのが楽しみです。

大山健太さん（写真下段右）
こまバトルを見た人が、高校生でも精度の高いものを作ることができることを知って、ものづくりに興味を持ってくれたらうれしいです。

指導教員 髙尾隆士さん
こま作りだけでなく、実習全体を通じて、ものが出来上がる楽しさを感じて欲しいです。その楽しさが日本のものづくりの産業基盤を支える力に通じていると思います。

《会場マップ》

【この特集に関するお問い合わせ】 産業経済局雇用政策課 ☎582・2419

VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。